

広報

はちまんたい

hachimantai

2016
希望郷いわて国体開催

熱戦展開に
湧き上がる
大歓声

主な内容 特集 起業志民プロジェクト 地方から日本を変える変革の志

挑戦者たちは、ここからはじまる！... 2～5頁

高齢者やその家族が抱える悩み「こんな場合、どうすればいいの～??」... 6～9頁

10

Oct. 2016

No.253

特集 起業志民プロジェクト

地方から日本を変える変革の志

挑戦者たちは、

ここからはじまる！



こんな景色を見ながら仕事できるって、最高の環境ですね！

高橋 一真 Takahashi Kazuma

たかはし かずま。大更地区出身・在住。スパルタキャンプ第1期生で、当時市内からは唯一の参加。キャンプ受講を経て、ことし4月に事務職からITエンジニアとして転職を果たす。12月1日に開設される八幡平市起業家支援センターへ最初に入居する株式会社 NOWALL(ノーウォール)が八幡平市に立ち上げる新会社メンバーの一人。

現在は、市内や都内で開催されるスパルタキャンプ講師を務めているほか、さまざまな企業のシステム受託開発業務などを行っています。

西根総合支所内に、情報通信産業向け 無償シェアオフィスを新設

扉 を開けて、広がる室内を見渡して一言。「思ってたよりもずっと広いですね！それに景色もいい」。ここに第1号で入居する予定の高橋一真さんは満面の笑みを浮かべます。

ここは、西根総合支所3階の旧議員控室。この部屋に八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略を実現するため、12月1日に八幡平市起業家支援センターが開設されます。

こ のセンターは、①法人または個人事業主の事業所を市の区域内に新たに設置する、②ソフトウェア業または、情報処理・提供サービス業を行う、③納期の到来した市区町村税を完納している、以上の3点を満たせば、誰でも利用できます。

使 用には、事前に市長の許可が必要で、許可期間は1年以内で最大5年まで延長が可能。使用料は無料です。

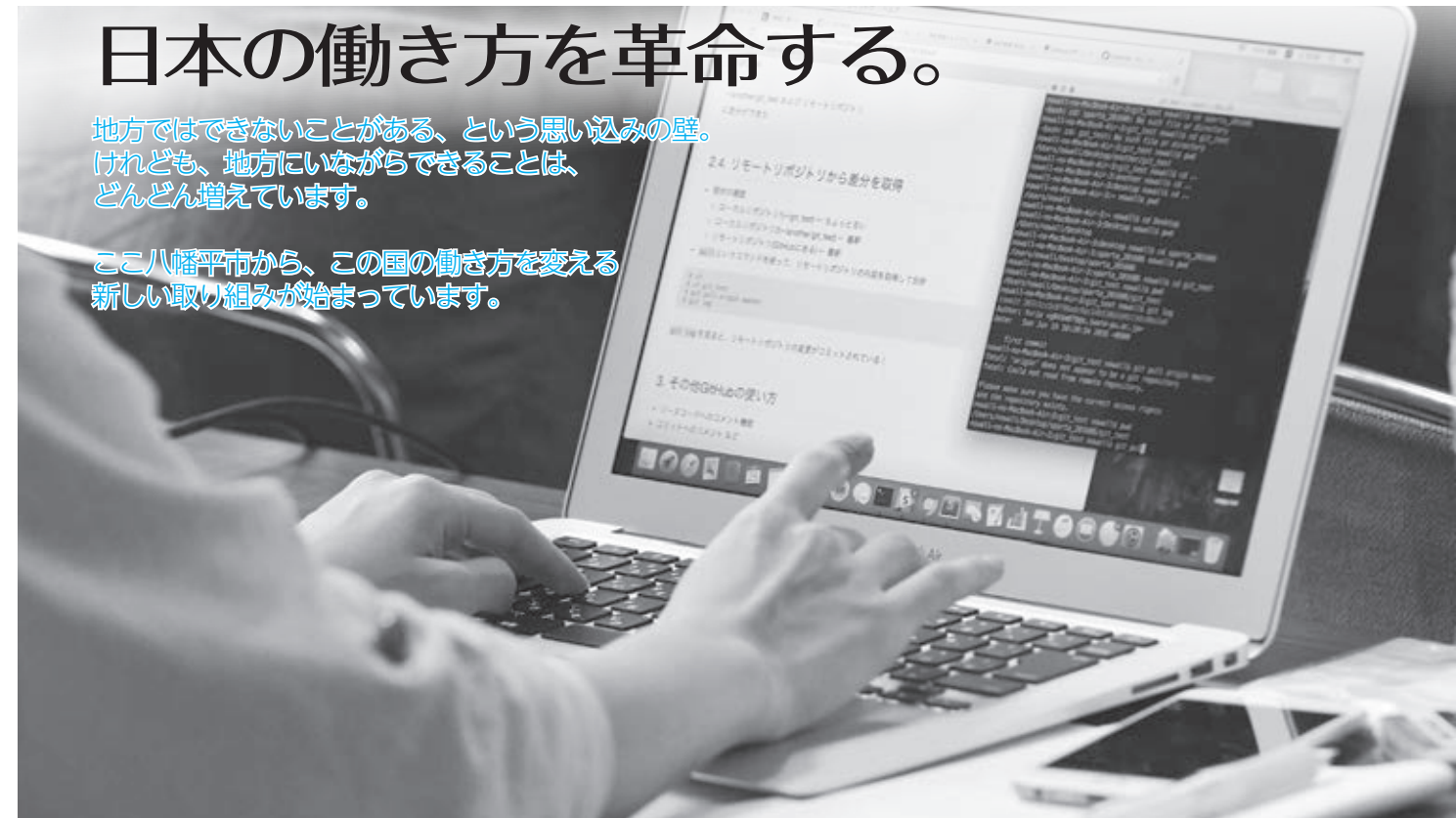
仕用の机・椅子といったオフィスとしての基本的な備品のほか、インターネットも無料で、コピー複合機のみがカウンター式の有料です。

スパルタキャンプで最高の起業家に！

地方から、 日本の働き方を革命する。

地方ではできないことがある、という思い込みの壁。
けれども、地方にいながらできることは、
どんどん増えています。

ここ八幡平市から、この国の働き方を変える
新しい取り組みが始まっています。



スパルタキャンプのすごさ①

生徒→先生

キャンプで生徒に教えて
いるメインやサブの講師は、
昨年までは東京の人だけで
した。

現在は主として前ページ
の高橋さんのようなスパル
タキャンプの卒業生が務め
ています。キャンプの中で
受講生同士が教え合うなど、
より成長する仕組みを用意
しています。



起 業家支援センターは、一
般にシェアオフィスと
呼ばれる施設と同様のもの
です。オープンフロアで専用の
デスクなどはなく、設備を共
用で使うことから家賃が低廉
で、起業時に使われることが
多いものですが、県内には1
施設もありません。

平成27年度に策定した、ま
ち・ひと・しごと創生総合戦
略において「若者・女性を中
心とする起業支援を進める」
ことを主要な取り組みとして
定めていることによるもので、
これを実現するために行っ
ているのが、起業志民プロジェ
クトです。

こ のプロジェクトは「起
業のための環境整備」と
「志ある起業家の育成」を柱と
しています。前者が新たに開
設する起業家支援センターで、
後者が昨年から行ってきたス
パルタキャンプです。

スパルタキャンプは8日間
という短期間で実施しますが、
最終的に自分の思い描くアプ
リなどの成果物作成に係る実
力を身に付けることを目的と
しています。

スパルタキャンプのすごさ②

素人→プロ

スパルタキャンプは、土
日を利用した全8日間の日
程で実施します。

参加者は平日に復習をす
るなどして次回に臨んでい
ます。短期間ではありますが、
通常のスクールで教える
数カ月分に相当する内容
です。

最終的には独力でアプリ
などの成果物を開発できる
までの実力を身に付けられ
ます。



次回の申し込みは10月19日まで！

■日時 10月29日(土)、30日(日)、11月5日(土)、
6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)
の全8日間。いずれも午前8時半から午後
6時半まで。

■定員 15人(応募多数の場合は選考)

■会場 安比高原内。詳しい場所などは受
講者にのみお知らせします。

申し込みなど詳しくは、八幡平スパル
タキャンプ公式ページ(<http://hachimantai.spartacamp.jp>)
をご覧ください。



ス パルタキャンプの第1期
生として参加した高橋さ
んは「東京や盛岡に行かない
とできないと思っていたIT
に関係する仕事が地元でき
るようになってきました。もっ
と仲間を増やしていきたいで
すね」と意気込んでいます。

東京じゃないとできない仕
事がある、そう思い込みの壁
があったと言います。市内か
ら、毎年多くの若者が都市を
目指して転出していきますが、
そこには同種の思い込みがあ
るのではないのでしょうか。

情 報通信技術の発展は、
私たちの働き方をも変
えようとしています。八幡平
市にいながら、すでに最先端
のIT企業と仕事をするこ
とが可能になっています。

そのための近道であるス
パルタキャンプ。次回受講内容は
iPhoneのアプリを作成
することができるSwift
です。日本全国から集まる最高
の仲間とともに、働き方を変
えていきませんか？

起業志民プロジェクトにつ
いて詳しくは、市役所商工観
光課(☎内線1317)まで。

高齢者やその家族が抱える悩み 「こんな場合、どうすればいいの～??」

28年8月31日現在の本市の人口は26,811人。そのうち、65歳以上の高齢者の人口は9,809人で、人口の36.6%を占めています。
高齢になると身近なことでもさまざまな問題や悩みが出てきます。そのことを一人で抱えて不安な中で過ごしてはいませんか。市内には、高齢者の皆さんが地域で安心して自分らしく暮らしていけるよう、本人またはその家族の悩みについて相談に応じ、支援するところがあります。

ケース 4

かあ お義母さん、認知症？

お義母さんの行動に困っています。夜、家中をうろうろしていきなり大きな声を出し、家族を起こすんです。お漏らしも頻繁にするようになってきているし、着替えの手伝いをしようとすると怒鳴り出す始末。近所に、嫁の私の悪口を言いふらしているようだし…。正直、一緒に暮らしていくのがつらいです。

ケース 3

お隣のおじいさん、 最近見掛けないな～

お隣のおじいさん、昨年奥さんを亡くされて一人暮らしに。毎日家の前を通りかかりますが、カーテンを閉め切っていて、郵便物もたまっていることが多いんです。民生委員さんも気にして声掛けをしてくれるけど、なかなか出てきてくれないようで…。

ケース 1

おばあちゃんが、 家にこもりっきり…

うちのおばあちゃん、足腰が弱ってきたせいか、あまり家の外に出なくなってしまう。もう少し人とお話したり、外出したりすれば、張り合いも出るんじゃないかと思うんだけど、どうしたら…。

ケース 5

物忘れの多い、一人 暮らしの母の金銭管理 が心配

一人暮らしをしている母の口座引き落としや支払い、通帳管理などの金銭管理を息子である僕が行ってきましたが、先日、金融機関で本人以外の手続きはできないと言われました。母は物忘れが多くなってきて管理ができない状態なのですが…。

ケース 2

父が脳梗塞で倒れて 入院。後遺症で退院後 は介護が必要に…

父が脳梗塞で倒れて入院しました。医師から、後遺症が残ると言われて…。家に戻ってきたとしても、日中は家族みんな仕事で出掛けているし。おそらく介護が必要になると思うけど、やっていけるのか不安です。

そんな悩みを抱えて

いる場合は・・・

■市全域

八幡平市地域包括支援センター

▶住所：野駄第21地割170番地

八幡平市役所健康福祉課内

▶電話番号：0195-74-2111

▶相談窓口開設時間：平日 午前8時半から午後5時15分まで



高齢者の暮らしをサポートする総合相談窓口

地域包括支援センターへご相談ください

地域包括支援センターとは、介護、福祉、保健、医療など、さまざまな面から高齢者の生活を総合的に支援する機関です。

介護支援専門員（ケアマネジャー）、社会福祉士、保健師といった専門職員が、チームとして高齢者やその家族が抱えるさまざまな悩みや困り事に関する相談に応じています。

市役所本庁舎健康福祉課内に、センターを設置しています。その他、センターと同じく相談窓口としての役割をもつ、各地域に根ざした在宅介護支援センター（ランチ）もあります。

相談は、来所や電話で応じるほか、必要に応じてご家庭へ訪問も行います。お気軽にご相談ください。

各地区には、地域に根ざした相談窓口「在宅介護支援センター」（地域包括支援センターランチ）があります

■安代地区

あしろ苑在宅介護支援センター

▶住所：川原129番地

あしろ苑指定居宅介護支援事業所内

▶電話番号：0195-72-3511

▶相談窓口開設時間：平日 午前8時半から午後5時15分まで、土曜日（第2・第3除く） 午前8時半から午後0時半まで



■西根地区

西根在宅介護支援センター

▶住所：田頭第24地割36番地

西根会指定居宅介護支援事業所内

▶電話番号：0195-75-1255

▶相談窓口開設時間：平日 午前8時半から午後5時半まで



■田山地区

りんどう苑在宅介護支援センター

▶住所：丑山口27番地 5

りんどう苑居宅介護支援事業所内

▶電話番号：0195-73-2860

▶相談窓口開設時間：平日 午前8時半から午後5時15分まで



■松尾地区

松尾在宅介護支援センター

▶住所：柏台2丁目8番3号

指定居宅介護支援事業所のぞみ内

▶電話番号：0195-71-1012

▶相談窓口開設時間：平日 午前9時から午後5時半まで、土曜日 午前9時から午後0時半まで



介護保険・介護予防、認知症や生活上の悩み、財産管理、高齢者虐待に関する困り事など、一人で悩まず、どうぞお気軽にご相談を！

鉢物『安代りんどう』欧州での栽培へ 海外2社と初ライセンス契約を締結

市は9月29日、国内外で品種登録をしている鉢物リンドウについて海外2社と欧州連合(EU)での栽培ライセンス契約を締結しました。

調印式は市役所で行われ、ニュージーランドやチリでも市から「安代りんどう」の栽培許可を得ているグリーンハーベストップパシフィック(ニュージーランド)



調印した契約書を手にする(左から)田村正彦市長、ライアル・ウィルズ社長、ロン・フーゲベン氏

のライアル・ウィルズ社長と、同社より指名され、EU内での試験栽培と商用生産を実施するマーキュリアス(オランダ)のロン・フーゲベン契約責任者、田村正彦市長が契約書に署名をしました。

契約した品種は淡いピンク色の『メルヘンアシロ』と青紫色の『シャインブルーアシロ』の2種。ウィルズ社長は「ヨーロッパでは現在、切り花より鉢物の需要が高いことと、多彩な色種のニーズがあり、それらの点から『安代りんどう』は非常に多望である」、フーゲベン氏は「八幡平市のリンドウ生産関係者とのパートナーシップを大切に、鉢物リンドウのヨーロッパにおける商業展開を成功に導きたい」と意気込みました。

田村市長は「『安代りんどう』の素晴らしさを鉢物リンドウを通じて海外に伝えていければうれし」と今後の展開に期待を膨らませました。

欧州連合(EU)での鉢物リンドウ栽培ライセンス契約…

市は、平成11年に鉢物リンドウ『メルヘンアシロ』と『シャインブルーアシロ』の2種を国内品種登録。将来的な輸出を視野に、次いで平成17年に同品種をEUでも品種登録してきましたが、検疫など対処すべき課題が多く輸出までに結びついていないのが現状です。品種登録期限が切れる前にEUでの栽培許諾について市内リンドウ生産関係者の間で検討を実施。現地での生産・販売を行える体系を整備するための一歩として、この度の栽培ライセンス契約に至りました。

栽培に係るライセンスが許諾されたグリーンハーベストップパシフィック(ニュージーランド)とマーキュリアス(オランダ)の2社を通じて今後試験栽培が行われ、早ければ2018年には「EU産鉢物安代りんどう」が市場に出回る可能性も。本契約を締結したことにより『安代りんどう』のブランド力進展が図られることに一層期待がかかります。



発色の良い花色を誇る鉢物の『安代りんどう』

『いま』を大切に積み重ねていきたい 矢部凜香さんわたしの主張県大会優良賞を受賞

第18回わたしの主張岩手県大会(大会実行委員会主催)が9月15日、いわて県民情報交流センターアイーナ(盛岡市)で開催され「『いま』を生きる」と題して発表を行った矢部凜香さん(安代中3年)が優良賞を受賞しました。

県大会には、県内各地区大会で選出された17人が出場。凜香さんは1型糖尿病を

患いながらも家族や周囲の人の支えを受け、スキージャンプに打ち込んでいることを語り「病気があっても強く前を向いて自分らしく生きていきたい。『いま』を大切に積み重ね、その一瞬を乗り越えることができれば、それは必ず明日への光になるはず」と訴え、見事上位6位の中に入賞しました。

ジャンプの練習に打ち込む姿
(田山スキー場ジャンプ台)



観衆の前で堂々と発表を行う矢部凜香さん



◎大会に出場したきっかけ

中学の国語の先生から推薦を受けたことがきっかけです。自分の体験談を発表を通じて広く周りに披露することによって、同じような体験をしている人たちの励みになったり、皆さんの心に何か響くものがあるかもしれない、大会への出場を決意しました。

◎入賞した感想

北岩手地区・県大会ともに出場した他校の生徒の発表とその内容は素晴らしいと思いました。その中で自分を評価してもらえたことは素直に嬉しかったです。地区大会以上



矢部 凜香さん
=安代中3年=

に県大会は緊張しましたが、弁じ始めたら自分の言いたいことを思い切って伝えられたので良かったです。

◎今後の目標は?

『いま』はスキージャンプ一筋です!これから5つ程大会を控えています。昨年の記録を超えることと自己ベストを出せるように練習を積み重ねていきます。

◎将来の夢は?

管理栄養士になりたいです。入院した時にお世話になった栄養士さんの姿を見て、私も目指したいと思うように。実現できるよう頑張ります。

市人権擁護委員 工藤加寿子さんを新たに選任

人権に関する悩み事などの相談に応じる人権擁護委員に、工藤加寿子さん(61)=姥子石=が、法務大臣から新たに委嘱されました。任期は、10月1日から平成31年9月30日までの3年間で

す。相談日など詳しくは、広報はちまんたい暮らしのカレンダーをご覧ください。市役所市民課戸籍住民係(☎・内線 1062)まで。



工藤加寿子さん

平舘岩友会が創設50周年を記念して 市内小中学校に図書購入費用を寄付

8月29日、平舘岩友会(福勢慶昭会長)は「次世代を担う市内小中学生育成のために、各学校の図書購入に充ててほしい」と、寄付金50万円を田村正彦市長に贈呈しました。

贈呈式は、同会会員懇談会の中で開催。寄付金は、同会創設50周年を記念して集められたものです。田村市長は「皆様のお心遣い

をうれしく思う。人材育成のためにぜひ活用させていただきたい」と、感謝の意を述べました。



平舘岩友会福勢慶昭会長(左)から田村正彦市長に目録が贈られました



市の防災対策や災害時緊急対応のため 司商事(株)(盛岡市)が土のう用袋を寄贈

市は9月27日、市内の防災対策・災害時対応用として司商事(株)から土のう用袋100枚(64万8000円相当)の寄贈を受けました。同日運び込まれた袋は、西根・安代両総合支所倉庫にて保管。防災活動や有事の際に活用していきます。

地熱×八幡平市

地熱とともに生きる未来を探る

地熱シンポジウム in 八幡平を開催



50年後八幡平市をどのようなまちにしたいか地熱活用法とともに討論する市民代表者



「高齢者が住みよいまちにしたい」とまちづくりへの地熱活用策を提言する討論参加者



シンポジウム会場前特設ブースを見学する松尾中学校の生徒たち



17日には「地熱ツアー」が行われ、市内の地熱関連施設を巡りました(写真は松川地熱発電所を見学する様子)

地熱シンポジウムin八幡平が9月16、17日、2日間の日程で開催されました。シンポジウムは松川地熱発電所が昭和41年、商用地熱発電所として日本で最初に稼動してから50年を迎えることを記念し、開かれたものです。

16日、八幡平ロイヤルホテルで行われたシンポジウムには、地熱開発関係者や市民ら県内外から約430人が参加。元日本重化学工業の佐藤浩氏が「松川地熱発電所運転開始50年を振り返って」と題して講演し、二酸化炭素排出量が少なく純国産のクリーンエネルギーである地熱発電の仕組みや特徴、これまでの活用事例を解説しました。

また、市民の代表者が「地

熱開発と八幡平市の未来」をテーマに開会前実施した討論の結果を発表。次の50年を見据えて、八幡平市のまちづくりにどのような地熱の活用方法が考えられるかを提言しました。

パネルディスカッションでは、コミュニケーションデザイナーの山崎亮さんがコーディネーターを務め、田村正彦市長、俳優の紺野美沙子さん、地熱関連事業者らとともに本市が地熱と地域共生の先進モデル都市として可能性を十二分に持っていることと今後の展望について意見を交わしました。参加者は同シンポジウムを通じて、地熱発電開発の歴史とこれからの活用について理解を深めました。



観光や産業など地熱を活用した市の将来展望について意見を交わすパネリスト



10月8日は「地熱発電の日」と認定されました(左から)日本記念日協会加瀬清志代表理事、日本地熱協会後藤弘樹会長、俳優の紺野美沙子さん

松川地熱発電所が昭和41年10月8日に運転を開始し、今年で50年を迎えることにちなんで、日本記念日協会が10月8日を「地熱発電の日」に制定しました。同シンポジウム中に「地熱発電の日」制定セレモニーが実施され、登録証が日本地熱協会の後藤弘樹会長に授与されました。

大雨・洪水に備えて

ご家庭のテレビ(地デジ)で河川の水位・雨量が確認できます

●詳しくは、市役所防災安全課消防防災係(☎・内線1264～1267)まで

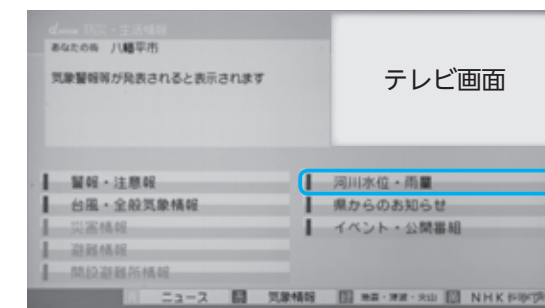
NHK総合の地上デジタル放送(データ放送)では、河川の水位・雨量情報の提供を行っています。市内においては、松川と安比川の水位・雨量の防災情報を入手することが可能です。

■操作方法

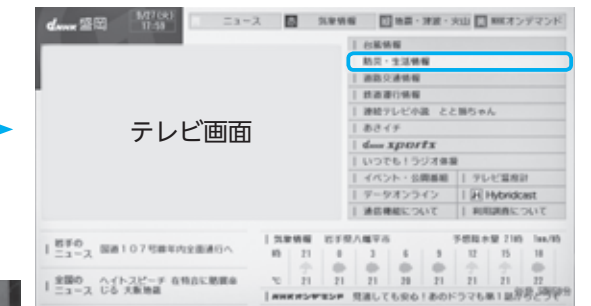
①TVリモコンの「dボタン」を押して、トップメニューから十字キーを操作して「防災・生活情報」を選択します。



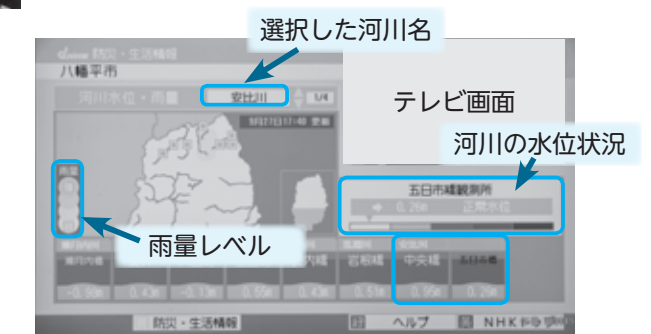
②TVリモコンの十字キーを操作して「河川水位・雨量」を選択します。



※この他にも、TVリモコンを操作して、各種防災情報を確認することができます。



③TVリモコンの十字キーを操作して、確認したい河川名を選択します。



住まいから認知症を考えよう

今年度2回目の認知症研修会

市は、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症ケアについて理解を深め、認知症ケアの質的向上について考える講演会を開催します。

入場は無料、事前申し込みは不要です。どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

■日時 11月4日(金)午後1時半から3時半まで

■場所 西根地区市民センター

■対象者 市民の皆さん、岩手西北医師会管内医療関係者および介護サービス事業者など

■演題・講師 ▶演題:『住まいから認知症ケアを考える～認知症と共に楽しく暮らすために～』▶講師:株式会社シルバーウッド 代表取締役 下河原忠道氏

詳しくは、市地域包括支援センター(☎・内線1092)まで。



下河原忠道氏

1971年東京都生まれ。1992年より父親の経営する鉄鋼会社に入社。住宅等の設計施工や高齢者専用住宅を展開する㈱シルバーウッドを2000年に設立。2011年7月、千葉県で自らサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)「銀木犀<鎌ヶ谷>」を開業。介護予防から看取りまで行う終のすみか住処づくりを目指し、「暮らしを楽しむ、安心して死を迎えられる場所」としてのサ高住を追求しています。

敬老の心で長寿を祝う

市内各地区で敬老会が開かれる

市敬老会が9月5日から18日まで、市内11地区で開催されました。

敬老会には、市内在住の75歳以上の高齢者の皆さんを招待。対象者5,953人中1,932人が出席しました。式典では、77歳の人には市から記念品を、

出席者のうち最高齢103歳の佐藤春治さん(荒屋地区)



写真上：自分の似顔絵と花のレイをおばあちゃんにプレゼント(平館地区)



写真下：平館高生より紫薫枕を記念贈呈(松尾地区)



安代小2年生による元気いっぱいキッズソーランが披露されました(荒屋地区)

お酒を酌み交わし楽しく歓談(平館地区)



地域の高齢者に感謝の手紙を書く学童児童(写真上：田頭、下：大更)



おじいちゃん、おばあちゃんに気持ちが届くといいな



学童児童たち 敬老の心に触れる

市内学童保育クラブでは、敬老の心に触れる取り組みを実施しました。9月上旬、大更・田頭・渋川のクラブでは、地域の高齢者に対する感謝の手紙を作成。作成した手紙は地区老人会を通じて各高齢者世帯に配布されました。9月26日には、柏台の学童児童たちが地区老人会の会員とグラウンドゴルフで交流を楽しみました。



地区老人会員と柏台学童の児童フを楽しみむ柏台学童の児童

第12回市小学校陸上競技会を開催

力を尽くし競い合う



男子の1000㍓、走り幅跳びの両部門で優勝した工藤信太郎君(大更6年)



第12回市小学校陸上競技会が9月14日、市総合運動公園多目的運動広場で開催されました。競技会では、市内10校の児童が100㍓走など9種目にわたり、日頃の練習の成果を競い合いました。各小学校、代表選手への応援にも熱がこもり、白熱した競技展開と併せて、会場は盛り上がりしました。なお、結果は下記のとおりです。

走る、跳ぶ、投げる 各学校の代表が持てる力を出し切りました



◆競技会成績 (優勝者のみ掲載。敬称略)

種目名	4年	5年	6年
100㍓	男子 大和悠莉(寺田)16秒50 女子 阿部美莉亜(柏台)16秒0	中村歩陸(大更)16秒10 古川紗綾(松野)16秒70	遠藤樹(平館)14秒60 戸津天寧(大更)15秒50
200㍓	男子 — 女子 —	畠山遥斗(大更)32秒0 佐々木蘭(大更)33秒30	畠山莉空(寺田)30秒60 工藤瑞歩(安代)33秒40
800㍓	男子 — 女子 —	— 佐々木夢歩(松野)3分0秒50	— 清水畑詩桜(田頭)2分47秒70
1000㍓	男子 — 女子 —	田中珀(平館)3分30秒60 —	工藤信太郎(大更)3分31秒80 —
80㍓ハードル	男子 — 女子 —	和井内飛沫(田山)16秒50 古川真愛(松野)17秒60	高橋涼太(平館)14秒60 工藤瑞歩(安代)17秒10
4×100㍓	男子 大更(畑澤真咲・田村隆斗・武藤天翔・角館優稀)1分5秒90 女子 平館(遠藤桜・西山凜乃・高橋悠愛・八重慥凜)1分7秒80	大更(中村歩陸・渡辺瑛大・高橋匠・畠山遥斗)1分3秒0 大更(関塚怜花・松村楓蓮・田村新奈・佐々木蘭)1分5秒30	大更(小山田公叶・渡邊爽葵・高橋俊道・田代稀里)58秒50 安代(工藤瑞歩・阿部美羽・佐々木萌・種市らん)1分1秒70
走り幅跳び	男子 — 女子 —	畠山悠(寺田)3㍓68 吉田星(松野)3㍓21	工藤信太郎(大更)3㍓83 阿部美羽(安代)3㍓63
走り高跳び	男子 — 女子 —	高橋悠月(田頭)1㍓10 角掛美和(大更)1㍓10	田代稀里(大更)1㍓33 佐々木萌(安代)1㍓19
ソフトボール投げ	男子 — 女子 —	麥田彩藍(松野)49㍓98 高橋嘉乃(松野)37㍓19	盛内柊吾(寄木)62㍓53 高橋陽花(平館)45㍓28



自ら考えた質問で田村市長にインタビューする生徒たち

いろいろな仕事を体験

市立松尾中学校職場体験学習

松尾中学校2年生46人の職場体験学習が8月30、31の両日、市内の保育所や老人ホーム、ホテルなどで行われました。市役所の広報作成の体験には、佐々木向日葵さん、立柳涼汰君が挑戦。2人はパソコンを用いて広報編集の作業をした後、市役所内の各部署をまわって業務内容の説明を受けたり、疑問に思ったことを質問したりするなど取材に取り組みました。向日葵さんは「貴重な経験をすることができた。将来に生かしたいと思う」と、感想を述べました。

ネット依存症に警告を

市生涯学習推進大会

市生涯学習推進大会が9月24日、松尾コミュニティセンターで開かれました。市PTA連絡協議会研修会との併催で、会場には、教育関係者や保護者ら約200人が来場しました。大会では、玉川大学大学院の近藤昭一教授(教育学)が『情報メディアとの上手な付き合い方—学校・家庭・地域の役割—』と題し講演。近藤教授は「スマホの普及によりネット依存に陥り、人間関係を良好に築けない子どもが増えている。PTAや地域でできる対策を講じることが重要」と、訴えました。



壇上で講演する近藤昭一教授

不自由を体験し育む心

平成28年度バリアフリー教室

国土交通省東北運輸局岩手運輸支局は9月9日、大更小学校4年生の児童61人を対象にバリアフリー教室を開催しました。この教室は、高齢者、障がい者の介助や疑似体験を通じ、バリアフリーに関する理解を深めたり、お互いに助け合える社会の実現を目的に開催されました。参加した小学生たちは「補装具を付けると高齢者が普段痛く、つらい思いをしていることが体験できた。これからは優しく接したい」と、思いやりの心を学びました。



高齢者の疑似体験で北森駅の結ロードを歩く児童たち

今年もヒーローが集結

IWATEハチマンタイダイナマイト

今年で8回目となるIWATEハチマンタイダイナマイトが9月11日、市さくら公園で開催されました。催しには、若鷲護神ハチマンタイラーや鉄神ガンライザーなど、7団体のご当地ヒーローが出演。会場には「ゆるキャラ」も登場し、家族連れの子どもたちは、一緒に記念撮影をするなどしてイベントを楽しみました。小林友春くん(5歳)=温泉郷=は「ヒーローに会えるのが楽しみ。ショーも早く見たいです」と目を輝かせていました。



岩手・茨城・栃木・北海道からヒーローが集結



集結した名車・旧車に見入る来場者たち

名車・旧車ずらり並ぶ

第18回ノスタルジックカーin八幡平

第18回ノスタルジックカーin八幡平が9月20日、市さくら公園で開催されました。会場には、約160台の名車・旧車が集結。1960～1980年式の車が多く並び、各オーナーと車談義に花を咲かせる人や初めて見る車を珍しがり記念撮影する人など、全国から集まった愛好家たちは車を通して交流を楽しみました。当日はコンサートライブの開催や屋台の出店もあり、家族連れなど多くの人出でにぎわいました。

隣県と合同で街頭活動

岩手県岩手警察署・秋田県鹿角警察署合同街頭活動

岩手と鹿角の両警察署は9月23日、田山地区相沢橋と秋田県湯瀬ドライブインの両駐車帯で交通安全を呼び掛ける街頭活動を実施しました。両県をまたぐ国道282号で、八幡平市民が鹿角市内で亡くなる死亡事故が発生したことから、今年から連携して街頭活動を実施。両県の警察署職員や交通指導隊、安代地区交通安全協会、交通安全母の会などから約30人が参加し、ドライバーへ交通安全運動のチラシを配布して、注意喚起を促しました。



ドライバーへ安全運転を呼び掛ける交通安全母の会の人たち

すなっぷギャラリー



市柔道協会の竹田直也さんから柔道の受け身を学ぶ児童たち(9月8日、平舘学童受け身教室)



園児たちがゴールを目指して一生懸命走りました(9月10日、松野保育所運動会)



震災復興支援スポーツ少年団交流大会in八幡平2016を開催(9月25日、松尾総合運動公園)



野駄地域の皆さんが「大黒舞」を披露(9月17日、地域密着型介護老人福祉施設「はらからの里」前)



家族で友人同士でたすきつなぎ楽しんだあっぱりレマラソン(9月11日、安比高原)

健診(検診)は結果の活用が大事です

■健診(検診)結果を生活に生かしましょう。

健診(検診)を受診して、結果を受け取ってどのように感じられましたか? 「異常なしだったので安心!」 「異常ありだったけど、何も症状がないし、去年と同じなので、まあいいか」 「異常ありだけど、精密検査は怖い」と、そのままにしていまいませんか。

健診(検診)は、現在の自分の健康状態を知って、自覚のない体の変化に気付くチャンスです。結果を参考に、受診が必要な人は、医療機関を受診してください。併せて、毎日の生活習慣や食事、運動を見直し、自分の体を大切にしましょう。

「異常なし」の人も、数値の変化などをチェックし、自分の生活を振り返ってみてください。健康を維持し、元気な体を保つように、良い生活習慣を続けましょう。

■11月7日は本年度最後の健診(検診)日です。

各種健診(検診) [表1参照] 対

象の人で、まだ受けていない人は、この機会をご利用ください。

表1 健診(検診)の種類や受付時間など

健診日	健診(検診)の種類	受付時間	場所
11月7日(月)	特定・若年者健診	7:00~9:30	松尾コミュニティセンター 体育館
	がん検診(肺・胃・大腸・前立腺)		
	骨粗しょう症予防検診		
	肝炎ウイルス検診		
	子宮頸がん・乳がん検診		
※子宮頸がん・乳がん検診のみ受診される人は、8時からの受け付けになります。			
※各健診(検診)には、対象年齢、保険証の種類などが関係します。			
※大腸がん検診は、当日検体を持参していただくため、事前に容器を受け取る必要があります。			

■脳ドック健診助成の申請について

脳ドック健診助成の対象者(市内に住所があり、平成28年4月1日で満40歳から60歳までの5歳刻みの人)で、健診を受診し、助成を希望される人は、10月31日が申請の締切日です。

福祉 NETWORK

子育てNEWS

地域福祉課児童福祉係 ☎・内線1103

つどいの広場においでください

「つどいの広場」とは、保育所に入所していない就学前の子どもと、保護者などの家族が気軽に集まって一緒に遊んだり、情報交換をしたりする交

流の場です。市内には、2カ所の「つどいの広場」があります。

つどいの広場では、リズム遊びやお絵かき、工作など親子で楽しめる遊びのほか、栄養指導や育児相談なども行っています。予約は不要で、無料で利用できます。お気軽にお立ち寄りください。

詳しくは、各施設へお問い合わせください。

■市内の「つどいの広場」

名 称	たからっこ広場	カンガルー広場
所 在 地	大更25-55-13 大更・大更第二学童保育クラブ内(大更コミュニティセンター隣)	清水219 あしろ学童保育クラブ内(隣接するあしろ保育園の玄関から入ってください)
電話番号	70-1771	72-2431
開 所 日	毎週月・火・木・金・土曜日 (祝日および年末年始を除く)	毎週月・水・金曜日 (祝日および年末年始を除く)
開所時間	午前10時から午後3時まで	午前9時半から午後2時半まで
そ の 他	弁当持参可、水筒などの持参をお勧めします。	給食(300円)を希望する場合は、3日前までにご連絡ください。

※市ホームページでは、つどいの広場だより(毎月1回更新)を公開しています。利用の様子や毎月の予定等を掲載していますので、ぜひご覧ください。



たからっこ広場



カンガルー広場



今月の担当
阿部 文子 さん

地域おこし協力隊だより [29]

安比高原の「中のまきば」奥のまきば」をご存知ですか?

安比高原といえば、ペンション・ホテル・スキー場などをイメージされる人が多いと思います。私もつい昨年までは、リゾートとしての安比高原しか知らずにいました。

私は今年の6月から地域おこし協力隊に就任し、ほとんど毎日、安比高原に足を運んでいます。リゾートエリアを通り抜けて坂道をぐんぐん上り「ブナの駅」と表示された案内標識を左に曲がると、突然見晴らしがよい「中のまきば」という場所に着きます。

30年程前までは、この広大な森林と天然野芝の草原で牛馬の放牧が盛んに行われていました。人は木を伐って薪や漆器として利用し、木を運ぶ牛や馬が伸びる草木をはむこととで草原が広がり、ブナの森の木陰で暑さや虫や雨風から身を守りました。

山や森で木々が繁茂し過ぎて荒れることなく、自然にも動物にも人にも良いバランスが保たれていました。美しく豊かな安比高原の自然環境は、そうして何世紀も自然と動物と人とが共存して、今もここにあるのです。

40代以上の地元の人は「安

比高原は本当に見渡す限りの草原で、もつときれいだった」「遠足や家族同士でよく訪れたよ」と教えてくれました。さらに60代、70代以上の人からは「夏の間に何百頭も牛馬を放牧していたものだ」「うちでも馬を使って働いていたよ」と、今も息づく思い出を語ってくれます。ぜひ当時の写真を拝見したいです。

時代や生活が変化し、働く牛や馬が日常から姿を消し始め、放牧が盛んでなくなると、安比高原は森林が広がり、野芝の草原は樹々や笹で覆われ、どんどん狭くなりました。私が事務局として働く「安比高原ふるさと倶楽部」では、自然と共に育む文化・先人からの遺産を守り、次の世代へ



伸びる草木をはむ馬たち



ふるさと倶楽部による牧柵作り

つなげるための活動を行っています。

3年前からは、「中のまきば」の草原再生に馬を取り入れ、今年の6月に花盛りのレンゲツツジは、昔の記憶が蘇るほどの鮮やかさを取り戻しました。夏には2・5頭の柵を巡らせ、11月初めまで4頭の農耕馬と共に馬搬も含め様々な環境保全活動が続け



馬と地元の児童との触れ合い

ています。昔の馬具などがありましたら寄贈大歓迎です。いまこの風景と文化を失くさず未来に伝えるために「安比高原ふるさと倶楽部」の活動にご一緒しませんか?

安比高原ふるさと倶楽部イベント案内

- ◆まきばの草刈り
日時 10月19日(水)から25日(火)までの午前9時から午後4時まで ※午前や午後だけ参加することもできます。
- ◆エコツアー&外来種駆除
日時 10月25日(火) ▶エコツアー=午前10時から正午まで ▶外来種駆除=午後1時から3時まで。
- ◆野焼き祭り
日時 10月30日(日)から31日(月)までの午前9時から午後3時半まで ※昼食は事務局で準備します。

◎申し込みは事務局(☎ 090-8612-4499)阿部まで

※「そばっち通信」は、次号に拡充して掲載するため、今回はお休みとなります。ご了承ください。

一定面積以上の土地 取得時には届け出を

市内で一定面積以上の土地を取得した場合は、国土利用計画法に基づき、契約日から2週間以内に市役所への届け出が必要です。

■届け出が必要な土地取引の面積
▶都市計画区域内の場合…5,000平方メートル以上▶都市計画区域外の場合…10,000平方メートル以上 ※一団の土地である場合、土地の面積の合計が上記の面積以上となる場合も対象となります。

詳しくは、市役所企画財政課地域戦略係(☎・内線1209)まで。

生活支援ハウス居住部門 利用の申請を受け付け中

市は、一人暮らしなど自宅での生活に不安のある要援護高齢者を一時的に施設で居住し支援する「生活支援ハウス居住部門」の冬期間の利用申請を受け付けています。

■受付期間 10月20日(木)まで
■受付場所 市役所健康福祉課高齢福祉係または安代総合支所
■利用期間 11月1日(火)から平成29年4月30日(日)まで
■利用場所 市生活支援ハウス(小柳田210-1)
■利用料 年金など前年の収入に応じて費用負担があります。

詳しくは、市役所健康福祉課高齢福祉係(☎・内線1096)まで。

10月15日から21日まで 違反建築防止週間です

県では、違反建築防止週間に合わせ、建築の公開一斉パトロールを10月18日(火)に県下全域で実施します。

また、この週間中は、建築に関する相談所を設置します。

■相談所 ▶県県土整備部建築住宅課(☎019-629-5935)▶盛岡広域振興局土木部(☎019-629-6650)

詳しくは、市役所建設課建築係(☎・内線1305)まで。

自然保護考える講演会 口笛演奏も披露します

市芸術文化協会松尾支部では、文化講演会を開催します。講座のテーマは、「ちょこエコから始まる自然保護」です。

■日時 11月13日(日)午後1時半から3時半まで

■場所 松尾コミュニティセンター

■講師 県地球温暖化防止活動推進員 高橋良和さん

詳しくは同会松尾支部事務局(☎76-4655)田村まで。

長期療養をしながら就職 職業安定所が支援します

ハローワーク盛岡では、がん、肝炎、糖尿病などの長期療養をしながら就職支援を希望する人に対し、専門の就職支援ナビゲーターを専門相談部門に配置し、マンツーマンで就職支援をしています。

また、出張相談も下記のとおり実施していますので、ご利用ください。

■出張病院 岩手医科大学附属病院「医療福祉相談室」がん相談支援センター(盛岡市内丸19-1)

■出張相談日 毎週水曜日の午後1時から4時まで

詳しくは、盛岡公共職業安定所(☎019-624-8904)まで。

ひとり親家庭を対象に 無料の法律相談を開催

(一社)県母子寡婦福祉連合会では、弁護士による無料法律相談を開催します。

■日時 11月15日(火)午前10時から午後3時まで

■場所 西根地区市民センター

■対象者 ひとり親家庭の親御さんなど(母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦) ※離婚を考えている人の相談も受け付けます。

詳しくは、同連合会(☎019-623-8539)まで。

市職員看護師の 採用試験を実施

29年度採用予定の市職員(看護師)の採用試験を実施します。

■応募資格 昭和60年4月2日以降に生まれ、看護師免許(29年3月末取得見込みを含む)を持つ人

■試験日 11月24日(木)

■試験会場 市国民健康保険西根病院

■申込期限 11月4日(金)必着

■申し込み方法 受験申込書に必要事項を記入し、市役所総務課に提出してください。

受験案内と受験申込書は、市ホームページ(http://www.city.hachimantai.lg.jp/cat49/post_2157.php)からダウンロードするか、市役所総務課、西根・安代両総合支所にあります。郵送で資料請求する場合、封筒に「職員採用試験案内請求」と朱書きし、82円切手を貼った宛先明記の返信用封筒を同封して、市役所総務課(〒028-7397八幡平市野駄21-170)にお送りください。

詳しくは、市役所総務課(☎・内線1231)まで。

盛岡山友会創立30周年の 記念講演会を開催します

盛岡山友会では、同会創立30周年を記念して講演会を開催します。

■日時 11月8日(火)午後6時45分(午後6時開場)から8時半まで

■場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)7階 小田島組☆ほ～る

■入場料 700円(前売り500円) ※高校生以下は無料

■講師 版画家 阿部陽子さん(岩手の山150の著者)

チケット購入方法など詳しくは盛岡山友会(☎090-4318-5128)中村または、同会ホームページ(http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/)をご覧ください。

介護職員初任者研修 参加してみませんか

社会福祉法人みちのく協会では、介護職員初任者研修(ホームヘルパー2級養成研修)を行います。

■開催期間 11月7日(月)から平成29年2月17日(金)まで全22回開催

■場所 特別養護老人ホーム富士見荘

■受講料 6万円(テキスト代・受験料などを含む)

■申込期限 10月31日(月)

詳しくは、同施設(☎78-2455)工藤、大金まで。

いわて花巻空港の 下期ダイヤが改正

いわて花巻空港の平成28年度下期ダイヤが、10月30日(日)に改正されます。

■28年度下期ダイヤの便数

▶札幌線(JAL) 1日3往復

▶名古屋線(FDA) 1日4往復

▶大阪線(JAL) 1日4往復

▶福岡線(JAL) 1日1往復

詳しくは、県空港利用促進協議会事務局(☎019-624-6330)まで。

改正育児・介護休業法 平成29年1月から施行

平成29年1月から「改正育児・介護休業法」等が施行されます。

詳しくは厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>)をご覧ください。岩手労働局雇用環境・均等室(☎019-604-3010)まで。

薬物依存症やうつ病の 対応方法学びませんか

県精神保健福祉センターでは、薬物依存症やうつ病の治療を受けている人の家族を対象に、その対応法を学ぶ教室を開催します。

◎薬物依存家族教室(全て木曜日) 10月20日、11月17日、12月15日、平成29年1月19日、2月16日、3月16日

▶時間 午前10時から正午まで

▶申込期限 各回の前日

◎うつ病家族教室(全て木曜日) 10月27日、11月24日、12月22日、平成29年1月26日、2月23日

▶時間 午後1時半から3時半まで
▶申込期限 10月20日(木)

■場所 県福祉総合相談センター(盛岡市本町通3-19-1)

詳しくは、県精神保健福祉センター(☎019-629-9617)まで。

放射線などの測定結果について

西根・安代地区学校給食センターでは、調理した給食の放射性物質を測定しています。

【西根】9月14日【安代】9月21日測定で、放射性物質は検出されませんでした。内容は、市ホームページで公開しています。

詳しくは、西根地区学校給食センター(☎70-1117)まで。

おわびと訂正

広報はちまんたい9月8日号(No.251)の17頁「よろこび・おくやみ」の「健やかに」の記事で、女の子の欄に「竹田結翔」くんを掲載しましたが、正しくは男の子でした。おわびして訂正します。

【広告】 この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

故人を偲び、思い出を語りうるとき、故人が好きだったお料理を囲みながら、大切なひととき、心をこめてお手伝いさせていただきます。

ホテル安比グランド
ご法事のご案内

広報を見てお申込みの方へ粗品進呈

写真はイメージです

Hotel APPI grand お問い合わせ ホテル安比グランド営業部 | tel 0195-73-6400

広報はちまんたい 広告募集中

「広報はちまんたい」は、市内の約9,400世帯に配布しています。情報発信にご活用ください!

広告掲載について詳しくは、企画財政課広報広聴係(内線1211)まで

※掲載は届け出順で、届け出人が希望した場合だけ載せています(敬称略)。

健やかに

安らかに

畑 万紀子 65歳 畑

◎男の子	立花 勘一 64歳 細野 村上 善治 88歳 中村
高橋 あつと 篤永(政孝・沙也香／南平笠)	立花 シゲ 84歳 細野 高橋 スエ 93歳 下町一区
田村 しゅう 心悠(翼・優季／両沼)	松村 トキエ 87歳 山後 工藤 リエ 92歳 北村
伊藤 れんのすけ 蓮之助(宏晃・友絵／雇用促進(西根))	小笠原 タキ 100歳 松尾 鈴木 智 75歳 温泉郷
◎女の子	吉田 敬 91歳 南平笠 齊藤 仁一郎 87歳 日瀬通
野中 あやめ(邦仁・真理子／山後)	安保 友吉 80歳 上町
高橋 ふたば 双葉(達矢・徳／寄木新田)	遠藤 武白 88歳 松川
村木 かな 柑南(洋和・明日香／小福田)	八重樫 ノリ 97歳 新興矢神

お幸せに

齊藤 大泰 / 下町三区	種市 タマ 97歳 五日市1区
早坂 セリカ / 滝沢市	小山田 キエ 95歳 五日市2区
	高橋 武志 77歳 北寄木

■人口の動き【8月31日現在 ()は前月比】

地 区	人 口	世 帯 数
西根地区	16,232 (－3)	6,294 (+8)
松尾地区	5,935 (－15)	2,340 (－4)
安代地区	4,644 (－7)	1,867 (+1)
合 計	26,811 (－25)	10,501 (+5)
男 性	12,913 (－6)	
女 性	13,898 (－19)	
出生	8	死亡 26
転入	23	転出 30

■交通事故発生件数など ※()は前年同月の数

項 目	8月	1月からの累計
人身事故	4 (9)	22 (35)
物損事故	50 (47)	283 (336)
負 傷 者	5 (12)	29 (41)
死 者	0 (1)	2 (3)
飲酒運転	0 (1)	0 (4)
火 災	0 (0)	8 (4)
救 急	100 (127)	801 (854)

No.133

広報クイズ
10月13日号の問題

「地熱発電の日」は何月何日でしょう？

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。
◎応募方法 はがき、FAX、メールに「答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢」を書いて応募してください。答えのほかに、広報の感想や意見などを必ず書き添えてください。紙面づくりの参考にいたします。

◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」
☆はがき〒028-7397(住所不要) ☆FAX:74-2102
☆メール:kizai@city.hachimantai.lg.jp(タイトルに「広報クイズ」と入力、右上のQRコードを読み込むことで、宛て先の入力を省略できます)

◎応募期限 10月31日(月)消印有効

◎第132回の正解 農と輝 つなげよう未来へ 八幡平の火 ▶応募者9人 ▶正解者7人
▶当選者 小野寺幸子さん(野駄)、田村フミさん(野駄)、久世教枝さん(柏台)



博物館 だより

博物館 TEL63-1122・FAX63-1123

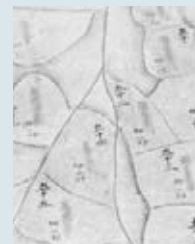
絵図の企画展の見どころ

八幡平市に魅入る

市博物館では、絵図を見て魅力を感じ取る企画展「絵図で見る八幡平市の今昔」を開催中です。今号より『西根編』『松尾編』『安代編』の3回に分けて、それぞれの地域の特徴などについて紹介していきます。

初回は西根編です。この地区の絵図は、ほとんどが明治時代に描かれており、所有者名のほかに田や畑などの広さが細かく描かれています。これは、石高を正確に把握するためだと思われます。

当時の大更は、水量が多く肥沃な土地を生かし、藩政期に御側新田(藩主の直轄地)として開発され、生産性の高い良質な水田が広がっていました。南部藩の財政を下支えしていた歴史があるからこそ、明治に描かれた絵図にも表れているのかもしれません。



田畑が細かく描かれています(一部加工)

◆絵図の注目資料、北海道を描いた「蝦夷地図」

注目して頂きたい資料として『蝦夷地図』があります。江戸時代に制作された『蝦夷地図』は、まだ正確に測量する技術がなかったため、現在とは全く異なった形をしている点が非常に興味深いです。

当時の人々の「未開の地を解明しよう」という知的好奇心も感じることができます。



「蝦夷地図」西根歴史民俗資料館蔵

講演会「絵図で見る八幡平市の今昔」

- 開催日 11月3日(木・祝)
 - 時 間 午前10時から11時半まで
- 事前に申し込みが必要です。詳しくは博物館までお問い合わせください。

図書館 だより

図書館 TEL75-1700・FAX75-1701

読書の秋を始めませんか

図書館へようこそ～親子お話し会～

市立図書館では、未就学児と保護者を対象とした親子お話し会を開催します。親子で絵本を楽しむ読み聞かせのヒントを紹介します。どなたでも参加できますので、お気軽に来館ください。

- ▶期日 11月6日(日)
- ▶時間 午前の部 午前10時半から11時半まで
午後の部 午後1時半から2時半まで
- ▶講師 盛岡誠桜高校子ども未来学科講師 附田清子さん(八幡平市在住)

第70回読書週間が始まります

標語「いざ、読書。」

読書の秋、図書館で新しい本と出会ってみませんか。

■期間 10月27日(木)から11月9日(水)まで



◆おすすめ新着絵本の紹介

◎『さけのかけごえんどんどこせ』 作：菅原たくや

出版：文化出版局

岩手在住の作者が手がけた絵本。さけたちは4年の間、世界中の海を泳ぎ回って成長します。そして、いよいよふるさとの川に帰るときがきました。さけたちは掛け声を上げながら海から川へ泳いで行きます。「ちろりろ ちろりろ だんどこせ」

◎『しろくまちゃんのほっとけーき』 作：もりひさし、わだよしおみ、わかやまけん 出版：こぐま社

こぐまちゃんシリーズから「てんじつきさわるえほん」が登場しました。点字と特殊な隆起印刷で、目の見えない人も見える人も一緒に楽しむバリアフリー絵本です。



希望郷いわて国体 熱戦に次ぐ熱戦 感動をありがとう
市内出身選手たちの誇り高き雄姿



相撲・成年男子

個人5位 里館健
(平館高教)



相撲・成年男子

松浦智哉
(法政大学)



相撲・少年男子

松浦裕介
(平館高3年)



相撲・少年男子

吉田皇
(平館高3年)



相撲・少年男子

長内龍
(平館高1年)



相撲・少年男子

津志田亜睦
(平館高2年)



相撲・少年男子

松浦和啓
(平館高1年)



テニス・少年男子

松浦洸祐
(平館高3年)



ライフル射撃・成年女子

坂本由美子
(県体協)

※敬称略。詳しい大会の様子は、11月10日発行の広報はちまんたいで紹介します。

編集後記

▽平館学童の受け身教室の取材に行きました。私は昔、柔道スポーツ少年団で柔道を少しやっていたことがあり、子どもたちが受け身の練習をしている姿を見てとても懐かしかったです。受け身を覚えると、転んでも自然に頭を守る動作をとりやすくなります。3歳の息子が転んで頭を打つ度に、いずれば息子にも柔道の受け身を教えるなればと思えました。

▽いよいよ待ちに待った国体本大会が開幕となり、この後記を書いている最中にも熱戦が続いています。競技においては、広報でこれまで追っ掛けていた市内出身選手の奮闘ぶりを間近にし、自分のことのように1戦1戦手にカメラと汗を握りながら見守っていました。

▽市内開催5種目の正式競技を全て観ることができたわけではないですが、実際に観戦に行った人やサポーターズの人から各競技の様子などを聞くことができ、写真などを通してその場の雰囲気を感じ取っています。取材で会場を回ると、戦う選手たちもさることながら、本当にたくさんのスタッフが駆けずり回りながら、この一大イベントが作り上げられているんだなと実感しました。その中に私も参加していることを誇りに思います。今この一瞬一瞬はみんな大変だけれども、やり終えた時の充実感は大きいはず。2月の冬季大会も含めて、完全国体に携われたこと、貴重な経験ができたことを幸せに思います。

沙